

令和3年11月5日

松山記念病院

令和3年度 第2回依存症治療拠点機関研修（WEB研修）実施報告

10月29日に、吉田精次先生による研修「行動変容のメカニズム—人はなぜ変わろうとするのか、変化はどのようにおきるのか—」を開催し、116名参加の方が参加されました。

依存症治療は、依存行動を手放したいと行動変容することが不可欠であると知りました。行動変容は、①転換（大切なものを失いたくないと思える環境が決め手になる）②決心（自分1人で決める）③行動（近くに話せる相手や相談機関がある）の3つのポイントがあるということ学びました。

私たち医療者は、依存症行動をやめさせることが仕事ではない、回復に向けてのために心の窓を開ける役割を担うことが重要だと感じました。

以上